

県域 絶滅危惧Ⅰ類



環境省レッドリスト(2018) 絶滅危惧ⅠB類(EN)

北潟湖などでは自然養殖され、若魚が毎年放流される。重要な水産資源である。 全長:約60cm

ウナギ科 ウナギ属 【標準全長】100cm

## ニホンウナギ

学名: *Anguilla japonica*

**分布域** 北海道以南。

**生息域** 河川下流～中流域・平野部の湖沼に生息する。



生息数は少なくない。高浜町小河川産

腹鰭は無く胸鰭は1対。背鰭と臀鰭・尾鰭は融合する。夜行性で昼間は物陰に隠れ夜間に活動する。食性は動物食性で甲殻類・小魚・貝類・水生昆虫などを食べる。冬に水温が低下するとほとんど活動しないで泥の中などで越冬する。ウナギは5～12年を淡水域に生息し成長する。成熟した年の8～10月に海に下り、フィリピン沖のマリアナ海山で産卵する。産卵期は4～12月。孵化したものがシラスウナギとなって日本周辺に現れるのは、翌年の1～3月が最も多い。ウナギの養殖は盛んだが、シラスウナギを捕まえて養殖するもので、そのシラスウナギが激減している。ウナギの完全養殖までは、まだ時間を要する様だ。

在来種

回遊魚

※ ウナギが環境省の絶危惧種に指定されニュースにもなった。また、三方湖周辺のシラスウナギの遡上は絶滅したと新聞に載ったことがあるが、疑問も残る。ただ、減少しているのは間違いない。